

令和3年第四回鹿児島市議会定例会での発言の要旨

●商業高校と女子高校の再編等に対する取組みについて

令和3年8月に公表された公立高校の進学希望状況では、市内の県立高校の商業科が高倍率の中、鹿児島商業高校と鹿児島女子高校の商業科の倍率は0.4倍程度だったので、昨年に引き続き質問しました。



要チェック!!
CHECK!

Q. 両校を希望しない理由は何か、中学生や保護者の声は?

A. 私立高校への希望者の増加や両校への通学の利便性について課題があるとの意見が出されている。

Q. 今度の再編への見通しは?

A. 生徒や保護者の意見を参考にするとともに、学識経験者や同窓会の意見を踏まえ、幅広く検討する必要がある。

(たいすけの所感)

両校を希望しない理由を私が中学生を対象に調査したところ『男女共学じゃないので嫌だ』という声が多かったです。社会情勢を考えると、両校の統合も視野に検討すべき時期かと。統合することにより、経費等が削減される分、より充実した施設が整備され、各部活動の活性化に繋がり、より魅力的な学校運営がなされるのではと考えます。同窓会の方々などの意見も大事ですが、あくまでも高校に入学してくるのは、これからの次代を担う子どもたちであるということを念頭に、早急に検討すべきと再要望しました。



●特別支援学級について

私が子どもの頃に比べると、児童生徒数は約半分に減少したものの、各校にある特別支援学級数は増加していると感じたので、その背景と要因、課題を明らかにしました。



要チェック!!
CHECK!

Q. 市内小中学校における特別支援学級の推移(10年前との比較)は?

A. 小学校で219学級、中学校で41学級、増加している。

Q. 特別支援学級の中で、最も増加している障害種とその学級数の推移は?

A. 最も増加しているのは、自閉症・情緒障害特別支援学級で、その学級数は平成24年度は79学級、令和3年度は248学級で3倍以上の増加。

(たいすけの所感)

増加の要因は、特別支援教育に対する理解が進み、期待する保護者が増えたことであることが明らかになりました。課題としては、教員や教室の確保があるようです。私がおもうに、自閉症・情緒障害というのは、それぞれの個性でもあり、特別支援学級という枠にはめ込むだけで良いのだろうかとも考えます。これまでの少年団の指導者としての経験を基に、家庭教育や通常学級における学校教育の中で改善できるものもあるのではと提言。近年、過保護になりすぎることで、生じる弊害や不登校の増加にも一定の影響があるのではと思います。私自身も含め、親学に磨きかけるとともに、子どもの教育には教育委員会のみならず、全庁的に取り組むよう市長に要望しました。

■米山 たいすけ プロフィール ■ ご要望・ご相談は遠慮なく 米山 たいすけ まで 携帯 090-4345-1551 E-mail: mail@y-taisuke.com

■現在とこれまでの主な役職、活動

- 鹿児島市立伊敷中学校 PTA 会長
- 玉江校区あいご会 会長
- 玉江ソフトボール少年団 代表監督
- 下伊敷消防分団
- 児童通学保護員
- 鹿児島保護区保護司 等

□家族構成(6人家族) 太助(44歳)・(妻) 恵(44歳) 令和4年3.31現在
 (長男) 祐翔(20歳)・(長女) 心優(18歳)・(次女) 心暖(14歳)・(次男) 大翔(10歳)
 ゆうと みゆ このん やまと

□経歴
 1977年6月 鹿児島市下伊敷に生まれる
 1984年3月 玉里善き牧者幼稚園卒園
 1990年3月 鹿児島市立玉江小学校卒業
 1993年3月 鹿児島市立伊敷中学校卒業
 1996年3月 鹿児島県立鹿児島工業高校建設技術系卒業、野球部所属
 1996年4月 鹿児島市内の建設会社に就職
 2012年4月 鹿児島市議会議員選挙初当選
 2016年4月 鹿児島市議会議員選挙二期目当選
 2020年4月 鹿児島市議会議員選挙三期目当選
 好きな言葉 [弱気は最大の敵]

米山 たいすけ の 想いや行動がわかる!! 市議会議員 米山 たいすけ 検索 毎日更新中!!

今でも変わらぬ
熱い心と行動力!!

子育て世代
責任世代

米山 たいすけ
鹿児島市議会議員

決算特別委員会 委員長・第6次総会計画審査特別委員会
 桜島爆発対策特別委員会・建設消防委員会
 議会運営委員会

市民連合
鹿児島市山下町11-1
TEL 099-224-7353

令和4年 第一回定例会にて新年度予算決定!!

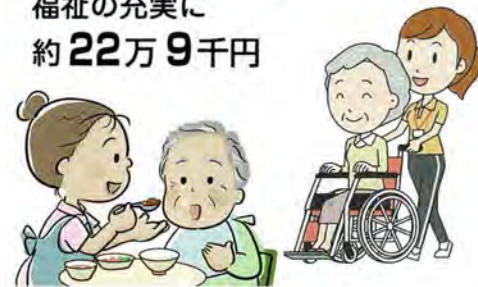
『一般会計2,680億円』(前年度比19億円増)



令和3年度は、これまで取組んできた109の事業が休止。しかし、令和4年度においては、その109の事業のうち68の事業が復活することになりました。コロナ感染については、未だに終息していない状況ではありますが、徐々に景気回復も図りながら、一刻も早く日常に戻ることを願っております。一緒に乗り越えていきましょう!!

市民一人当たりの使い道はどうなってるの!? 予算額2,680億円は、一人当たり(約44.6万円)です。

●子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実に
約22万9千円



●教育の振興に
約3万4千円



●消防・救急に
約1万円



具体的な使い道は!?

●環境や衛生の向上のために
約3万円



●道路や公園、住宅などの整備に
約3万8千円



●商業・観光・農林水産業の振興に 約1万7千円



●市債の返済に 約4万7千円

●市の運営などに 約4万1千円



鹿児島市の主な新規事業

新 合葬墓整備事業

(3,712千円)

近年の墓地の継承者問題等に対応するため、星ヶ峯墓園内に合葬墓を整備するための基本・実施設計を行います。



整備イメージ

新 6次産業新商品開発チャレンジ事業

(21,517千円)

6次産業化による付加価値を高めた新商品開発を推進するため、都市農業センターに加工機器を整備するほか、研修会等を開催します。



新 天文館図書館管理運営事業

(198,656千円)

まちなかで誰もが気軽に本と触れ合うことができる天文館図書館を本年4月に供用開始し、いづろ・天文館地区の活性化にもつなげます。



完成イメージ

新 スクールロイヤー活用事業

(2,008千円)

新 いじめ問題等に係るスクールロイヤー活用事業

(2,613千円)

学校教育の充実に向け、法的観点から学校へ助言を行うスクールロイヤーを新たに導入し、いじめ等の諸問題に対して適切な対応を図ります。

新 デジタルドリル整備事業

(59,565千円)

児童生徒一人ひとりに応じた学びを提供するため小・中学校においてICTを活用した学習ドリルの導入を行います。



新 都市計画道路網再編事業

(11,943千円)

都市計画道路について、社会情勢の変化等を踏まえた見直しを図るため、基礎調査等を行います。

米山たいすけ議会活動報告

おかげさまで、今年4月で議員生活10年を迎えました。これまで、多くの支援や様々な要望をいただき、市民生活のより良い環境づくりに尽力を注いでこれたことに感謝申し上げます。引き続き、変わらぬ『熱い心と行動力』で毎日を全力投球で力の限り頑張ります。

今後とも、遠慮なくご要望やご意見を賜りますよう宜しくお願い致します。令和3年度は、決算特別委員会の委員長をはじめ、第6次総合計画基本構想審査特別委員会、桜島爆発対策特別委員会、建設消防委員会、議会運営委員会と多くの委員会に所属させていただき、各面において議員としての見識を高めることが出来ました。又、令和3年第4回定例会では個人質疑、令和4年第1回定例会では代表質疑に登壇させていただき、本市の各種課題について質問や要望をさせていただきました。



本市の工事発注について

米山 たいすけ 議員

令和3年第四回鹿児島市議会定例会での発言の要旨

● 財政運営について

令和3年の6月に、京都市の市長より

『このままでは10年以内に京都市は破綻しかねません』という衝撃的な発言が。

京都市と言えば、風情豊かな街並みが整備され、多くの観光客で賑わっていることから財政運営については、全く問題ないと思っていました。京都市の財政破綻に不安を覚え、本市の財政運営の現状について質問しました。



要チェック!!
CHECK!

Q. 本市において、京都市と同様な財政運営はないものか?

A. 社会保障関係経費の増などにより厳しい状況にあるが、財政3基金や市債の残高など、財政運営に直ちに及ぼすことはない。

Q. 本市財政における中核市での順位とそれに対する評価と分析

A. 中核市における順位もそれぞれ低下しており、厳しい財政状況にある。

(たいすけの所感)

京都市においては、行財政改革により、職員の大幅削減のほか、福祉や子育て等に対する市民サービスの低下を余儀なくされています。本市においてもこのような状況になる前に、自主財源の確保等の施策に取り組むよう提案しました。

市民のみなさんにも公助から自助への意識転換が必要かと。



● 本市の工事発注について

元々、建設事業に従事してきた私。

風水害や桜島噴火による大量降灰の時は、招集がかかり、夜通し災害復旧や市民の安全対策を施すということを経験してきました。

《そのようなことから、地元建設業者に対する考え方を質問しました。》

Q. 地元建設業者に対する必要性についての市長の見解

A. 都市基盤整備や災害時における復旧活動を最前線で行う地域の守り手等、安心安全なまちの実現に向け、重要な役割を担っていただきたい。

Q. 花野丸岡線舗装修繕工事(工事場所:伊敷町)の入札結果と概要は?

A. 指名業者9社のうち、当該地区の伊敷地区1社、中央地区3社、谷山地区5社で落札業者は谷山地区の業者である。

Q. 鹿児島駅前広場整備工事その6(工事場所:浜町)の入札結果と概要は?

A. 指名業者9社のうち、当該地区の上町地区3社、伊敷地区1社、谷山地区5社で落札業者は谷山地区の業者である。



要チェック!!
CHECK!

(たいすけの所感)

今回の入札概要を聞いてビックリしました。これまで入札等、有事の際の地元業者の協力や育成の観点から地域性を重要視されてきたはずが、上記の工事入札では当該地区ではない谷山の業者が多く指名され落札している現状を明らかにしました。

市長が谷山出身だからでしょうか? それとも忖度? 市長の地元建設業者に対する見解とも齟齬が生じていることを指摘し、今後においては、疑念を持たれるようなことがないように地域性という観点に十分配慮しながら指名業者の選定をするように要望しました。